

山行報告書

日時	6月24日(火)-25日(水)		
山名	耶馬溪		
CL	吉永	参加者	駒田、坂本、秋山、坂口
HP記載の有無：			
<p>シニア山行に行ってきた。シニアの条件は60歳以上で平日山に行ける暇な人。この人は暇そうだと誘って診ると意外に忙しかったりする。結局5人で朝もゆっくり10時に玖珠町の道の駅「童話の里くす」に集合。まずは藤原さんお勧めの、「うつくし谷」に向かうが増水で沢が渡れず、大きなマスを見ただけで、今回予定してなかった「羅漢寺」へ変更。ここはシニアらしく往復のリフト券で登る。初めての人には好評で変更してよかった。昼食は道の駅「耶馬トピア」でソバを食べる。量が多いが藤原さんお勧めの一目八景の山かけソバが良かったかもしれない。</p> <p>昼からは青の洞門、競秀峰を巡り、今回最大の目的「長岩城」に向かう。反黒田官兵衛の宇都宮一族野仲氏の山城で銃眼つき石積櫓を見に行ったが九州最大級の山城だそうで本当の山登りとなってしまうリーダーは評判を落としてしまった。急坂と梯子、狭い両側が落ちた絶壁の先にある石積櫓、あんな所攻めよと命令されても絶対行かないよと・・・官兵衛の時代でなくてよかった。</p> <p>良かったのはこの城のアプローチがなんと畦道だったことだ。</p> <p>時間も3時を過ぎ、後は紅葉の秋に譲ることとし九重に向かう。まずは露天風呂に入り、湧蓋山を見ながら焼き肉、夜は坂口さんのタブレットで歌謡ショーとなり大いに賑わった。</p> <p>次の日は誰も登山を提案するものはなく白水鉱泉の炭酸水を帰宅後の焼酎用に汲みに行き解散とする。 (吉永 記)</p>			
費用概算	宿泊(山ぼうし)2,000円 食料1,600円 羅漢寺リフト700円 +交通費 /1人		